

医学専攻がんプロフェッショナル養成専修の設置について

山形大学大学院医学系研究科は、東北大学等と連携し、文部科学省平成29年度大学教育再生戦略推進費 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プランに申請しておりましたが、この度その申請が採択されることとなりました。

については、平成30年度から医学専攻に「がんプロフェッショナル養成専修」を設置し、下記のとおり2つのコースを設けますので、当該コースを希望する方は、入学願書の志望講座欄及び指導予定教員欄に、希望するコース名及び指導予定教員名を記入してください。

記

専修名	コース名	募集人員
		平成30年度 (春季入学)
がんプロフェッショナル 養成専修	次世代粒子線治療エキスパート医師養成コース	2
	臨床腫瘍次世代専門医養成コース	4※

各コースの募集人員は、医学専攻の募集人員26人の内数です。

各コースの概要等については、次ページに記載しているとおります。

※臨床腫瘍次世代専門医養成コースの募集人員について、予告では6人としておりましたが、4人に訂正します。

国立大学法人山形大学

医学部学務課

〒990-9585

山形市飯田西2-2-2

TEL : 023-628-5049

講座名・指導教員名等	研究内容・指導内容
<p>次世代粒子線治療エキスパート医師養成コース 放射線医学（放射線腫瘍学） 根本建二 TEL：023-628-5386 E-mail： knemoto@ymail. plala.or.jp</p>	<p>【研究内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粒子線治療装置を含む先端医療装置の広域利用 ・粒子線（炭素線）の相対適応，絶対適応 ・化学療法と粒子線の併用療法 ・X線と粒子線の併用療法 ・定位放射線治療と粒子線治療の成績比較 ・放射線治療のオーダーメイド化 ・スループット向上に向けたセットアップルームの設計 ・手術と高精度放射線治療の併用 <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭素線治療の適応決定，治療計画，治療中の診察，治療後の follow-up ・スキャンニング，呼吸同期・追尾など先駆的照射方法 ・陽子線治療の適応決定，治療計画，治療中の診察，治療後の follow-up ・高精度放射線治療の計画，実施 ・小線源治療の計画，実施，手技 ・内部照射の計画，実施，手技 ・各種がんの画像診断法 ・がん患者の病棟管理 ・化学放射線療法の実施 ・緩和医療
<p>臨床腫瘍次世代専門医養成コース 内科学第二（臨床腫瘍学） 吉岡孝志 TEL：023-628-5222 E-mail： ytakashi@med.id. yamagata-u.ac.jp</p>	<p>【研究内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分子標的治療薬の作用機序・副作用発現メカニズムの解明 ・新規分子標的治療の標的分子に関する研究 ・ゲノムがん医療の展開に関する研究 ・稀少がんに対する新規治療法の開発に関する研究 ・分子標的薬と抗がん剤併用療法の開発 ・新しい集学的治療法（抗がん剤・分子標的治療薬・放射線及び粒子線治療との併用）の開発に関する研究 ・分子標的薬の適応に対する分子マーカーに関する研究 ・分子標的治療の新しい効果評価方法の開発 <p>【指導内容】</p> <p>分子標的治療は，多彩な副作用のマネジメントが必要であり，診療科や職種の間を超えた協力体制を組んで取り組む必要がある。こうしたチームを率いるリーダー育成が本コースの目的で，リーダーとして必要な知識・技術・実際を幅広く身につくように指導を行う。</p> <p>また稀少がんの治療は腫瘍専門医に託された問題であり，広い知識と経験を要する。そうした知識と経験が身につくような指導を行う。</p> <p>ゲノムがん医療は今後の医療が個別化医療からプレシジョンメディシンに変換する中で必須の知識であり，その知識を十分兼ね備えた専門家となるような教育内容となっている。</p>